

| 授 業 科 目 名 | 臨床実習Ⅲ | 授 業 形 態 | 実 習 |
|------------------|---|---------|--------|
| | | 配 当 学 期 | 2年（後期） |
| 担 当 教 員 名 | 水谷 貴佐、沖田 任弘、山田 真輔 落合 慶之、平塚 将嗣、中村 侑造 | 単 位 数 | 3単位 |
| | | 時 間 数 | 135時間 |
| 概 要 | <p>目的： 2年次の臨床実習Ⅱを踏まえ、理学療法過程における情報収集から患者の問題点抽出までの過程を、実習指導者の指導監督のもとで実践する。また、理学療法士としての臨床場面での態度や行動について理解を深める。</p> <p>実習生の到達目標： 対象者に対してある程度の助言・指導のもとに埋字療法評価を実施することができる。また臨床実習指導者の埋字療法実践（評価・介入・再評価）における臨床思考過程が理解できる。</p> <p>内容： これまで学び体得してきた検査測定技術を総合的に活用し、問題点の抽出にいたる統合と解釈の実践を行う。</p> <p>実習種別と期間： 評価実習（3週間）</p> <p>※その他の事項および実習の詳細については、別途配付する「臨床実習手引き」を参照。</p> | | |
| 評価方法 | <p>①社会スキル評価表（38%） ②運動スキルチェックリスト（20%） ③臨床実習ポートフォリオ（14%） ③実習後症例報告会（18%） ④実習前後の客観的臨床技能試験（10%）</p> | | |
| 教 科 書 参 考 図 書 | 〔教科書〕 臨床技能とOSCE（コミュニケーションと介助・検査測定編）金原出版 | | |
| 履修上の 留 意 点 | 臨床現場での実習であるため、態度・服装等に細心の注意を払い、学生らしく真摯な態度で取り組むこと。また、個人情報をもととする各種の現場での規約を遵守し、社会人として恥ずかしくない行動を取ること。 | | |
| メッセ ー ジ | 常に適度な緊張感をもち実り多い実習にしてください。 | | |